

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

日本が誇る、和牛を消費者や生産者など、すべてのステークホルダーの満足度や利益が最大化されるように事業を推進し、客観性と透明性の高い経営を行うことで、安心、安全な商品を、地域、そして世界へと供給する企業を目指す。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	廃棄物(フードロス)の削減	食品環境資源の再生利用等の実施率 2023年71.1%→2026年75%
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢、性別を問わない中途採用の実施	中途採用の実施の有無 2023年男性1名女性1名 →2026年男性2名女性2名
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	県産和牛の生産・消費の拡大	現在県内に所有している自社牧場の保有頭数 2023年672頭 →2026年900頭

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

＜パートナーシップ＞

食品卸売業者として、販売先、及び生産者との信頼関係を構築し、企業内においては、ISO22000に基づく食品取扱により、従業員一人一人の状況に応じ、働きやすい職場で、食の安全・安心を提供する環境整備を図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況＞

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	廃棄物(フードロス)の削減	食品環境資源の再生利用等の実施率 2020年71.1%→2023年75%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	業量拡大により、取扱量が増加したことから、食品環境資源の再生利用等の実施率は73.9%と改善したものの、目標は未達である。	食品環境資源の再生利用等の実施率 2024年73.9%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢、性別を問わない中途採用の実施	中途採用の実施の有無 2021年男性1名女性1名 →2023年男性2名女性2名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	年齢、性別を問わない中途採用を積極的に行い前期指標を達成した。	2023年から2024年採用実績 男性5名女性3名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地産地消として、県産和牛の生産・消費拡大を図る。	現在県内に所有している自社牧場の保有頭数 2021年672頭 →2023年900頭
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2021年は自社牧場3ヶ所で672頭であったものが、1ヶ所を退所することとなり、現在2ヶ所での保有となり、目標未達である。今後は肥育牧場を探索し、頭数増加による指標の達成をはかる。	自社牧場保有頭数 2024年520頭

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**